

ASEAN設立50周年記念

**サンシャワー：東南アジアの現代美術展
1980年代から現在まで**

国立新美術館・森美術館 同時開催 2017年7月5日(水)～10月23日(月)

六本木の2大美術館を巡るアートフェス！～展覧会のみどころ、関連イベント紹介～

国立新美術館と森美術館、国際交流基金アジアセンターは、2017年7月5日(水)から10月23日(月)まで、「サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」を開催します。ASEAN(東南アジア諸国連合)設立50周年にあたる2017年、東南アジアの現代美術を紹介する、史上最大規模の意欲的な展覧会です。同じ六本木エリアにある国立新美術館、森美術館両館長が発案し、国際交流基金の賛同により実現したもので、3者が総力を挙げ、14名のキュレトリアル・チームによる2年半にわたる現地調査を経てASEAN10カ国より86組のアーティストを選定、計約180点の作品を2館の会場に展示する、初の共同企画展となります。

本展は、時代の潮流と変動を背景とした東南アジアにおける1980年代以降の現代アートの発展を9つの視点から掘り下げ、そのダイナミズムと多様性を紹介します。

サンシャワーとは

「天気雨」を意味するタイトル「サンシャワー」は、晴れていながら雨が降るという気象現象で、熱帯気候の東南アジア地域では頻繁に見られます。第二次世界大戦後の脱植民地主義のもと、冷戦下の戦争、内戦などの困難を経て民主化や国際化を迎え、近年では経済発展や都市開発が急速に進み、大きな変化を遂げている東南アジア地域の紆余曲折を表わす詩的なメタファーでもあります。



リー・ウェン
《奇妙な果実》
2003年
Cプリント
36 x 54 cm

プレスリリース

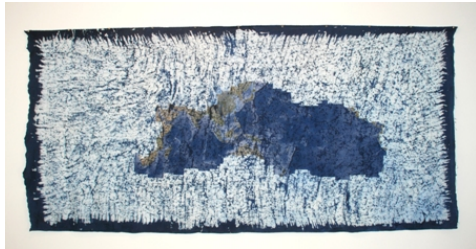
本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

展覧会の構成と会場：9つのセクション

◆ 国立新美術館会場

■ うつろう世界

さまざまな視点で複雑な歴史と社会を映し出す、地図を題材にした作品に焦点を当てます。



イー・イラン 《うつろう世界》(「偉人」シリーズより)
2010年 ミマキデジタル・インクジェット・プリント、酸性染料、ろうけつ・藍染め、絹
140.5 × 298cm Courtesy: Silverlens Galleries, Makati, The Philippines

■ 情熱と革命

植民地支配、戦争や抑圧のなかで、民主化や表現の自由を求めたアーティストたち。その活動の軌跡をたどります。



ティン・リン
《アートの生物学》
(「00235」シリーズより)
1999年
ミクストメディア、綿のシャツ
53 × 53 cm
Courtesy: Martin LeSanto-Smith

■ アーカイブ

アーティストたちのさまざまな活動やムーブメントについての記録や資料を展示します。



コウ・グワンハウ 《シュ・ティエシェン—アーカイブから見る作家の100年》
2014年 南洋理工大学CCAレジデンス・スタジオ(シンガポール)の印刷物、資料現物
サイズ可変 所蔵:シュ・ティエシェン&シンガポール・アート・アーカイブ・プロジェクト
撮影: Koh Nguang How

■ さまざまなアイデンティティ

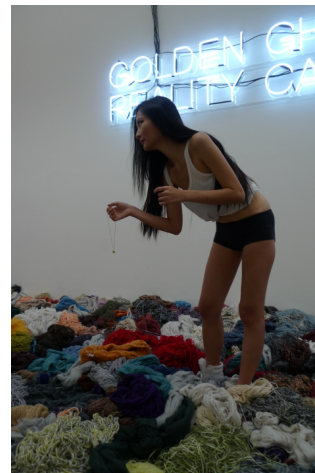
新しい国家の建設、多文化時代の到来によって生じた国家、民族、宗教、ジェンダーなど、アイデンティティの問題を考えます。



ムラティ・スルヨダルモ 《アムネシア》2016年
パフォーマンスとインスタレーション
ミシン、綿、チョーク、木 サイズ可変 パフォーマンス: 5時間
パフォーマンス風景: アーク・ギャラリー、ジョグジャカルタ、インドネシア、2016年

■ 日々の生活

グローバル化が進むなか多様化するアート。日常生活そのものを主題とする新しい表現を紹介します。



スラシー・クソンウォン
《黄金の亡霊(現実に呼ばれて、私は目覚めた)》
2014年
金のネックレス、工業用毛糸、ネオン管、鏡、写真、他 サイズ可変
パフォーマンス風景: 台北ビエンナーレ、2014年

プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

◆ 森美術館会場

■ 発展とその影

高度経済成長と急激な開発。その光と影をアーティストたちの眼差しを通して体感してください。



ジョンペット・クスウィダナント 《言葉と動きの可能性》 2013年
原動機のないモーターバイク、旗 サイズ可変
所蔵：森美術館、東京

■ アートとは何か？ なぜやるのか？

アートを通して地域や社会に何ができるのか？
さまざまな課題に挑むアーティストたちの試みに迫ります。



アイ・コー/ニュー・ゼロ
《村の美術学校》
2015年～

■ 瞑想としてのメディア

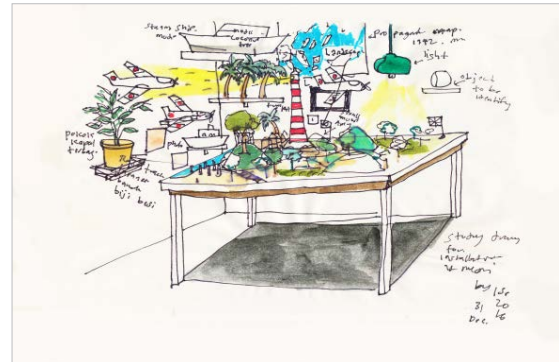
生活に根付く神話や信仰を題材に、伝統工芸などさまざまなメディアを用いて表現するアーティストたちを紹介いたします。



コラクリット・アルナーノンチャイ
《おかしな名前の人たちが集まった部屋の中で歴史で絵画を描く3》 2015年
ビデオ 24分55秒
Courtesy: Carlos/Ishikawa, London; Clearing, Brussels/New York

■ 歴史との対話

新世代のアーティストが、異なる世代との対話を通して複雑な歴史を見つめ、未来を考えます。



イセ
《アナザー・ストーリー》のためのドローイング
2017年

プレス画像の申請については、下記へお問い合わせください。

『サンシャワー：東南アジアの現代美術展』広報事務局(共同PR内)：三井・谷川

TEL：03-3575-9823 FAX：03-3574-0316 Email：sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp

プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内)：三井・谷川
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

展覧会のみどころとおすすめポイント

ASEAN設立50周年。

経済成長のみならず、現代アートシーンもめざましい興隆を見せる東南アジア地域

ASEAN(東南アジア諸国連合)は、1967年の「バンコク宣言」によって設立され、現在はインドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス(50音順)の東南アジア10カ国で構成されています。10年以上にわたり高い経済成長を維持し、2015年に経済共同体となったASEANですが、現代アートの世界においても活況を呈しており、国際的にも高い注目が集まっています。本展は、東南アジアの現代アートの集大成であり、また最良の入門編ともなるでしょう。

学校ではほとんど学べない東南アジアの近年の歴史をアートを通して総括

人口約6億人。多民族、多言語、多宗教の東南アジア地域では、ダイナミックで多様な文化が育まれてきました。この地域の歴史を振り返ると、第二次世界大戦後の脱植民地主義のもと、冷戦下の戦争、内戦などの困難を経て民主化や国際化を迎え、近年では経済発展や都市開発が急速に進み大きな変化を遂げています。本展は、時代の潮流と変動を背景とした東南アジアにおける1980年代以降の現代アートの発展を、9つの視点から掘り下げ紹介します。

14名のキュレトリアル・チームによる2年半にわたる現地調査の成果

ASEAN10カ国16都市を、現地若手キュレーターを含む14名のキュレトリアル・チームで2年半にわたり調査を実施しました。アーティストの創作活動の現場、ギャラリーやアート関係者など400件を超える訪問から知り得た情報をもとに、86組のアーティストを選定。キュレーター陣が感じた東南アジアの躍動感、息づかい、リアリティを感じることができます。調査の様子は、こちらからご覧いただけます。(http://seaproject.asia/)

東南アジアの注目アーティストが勢揃い！

3~4世代にまたがる86組のアーティストは、次世代に多大な影響を与えたモンティエン・ブンマー(タイ)、ロベルト・チャベット(フィリピン)をはじめ、'90年代に国際的に注目されはじめたアジアン・アーティストのスター、リクリット・ティラバーニャ(タイ)、ウォン・ホイチョン(マレーシア)、ヘリ・ドノ(インドネシア)、ティファニー・チュン(ベトナム)たち、さらに、'70~'80年代生まれの若い世代として、すでに世界中からオファーがあるホー・ルイ・アン(シンガポール)、コラクリット・アルナーノンチャイ(タイ)など、大注目のアーティストが勢揃いです。

六本木エリアの2大美術館をフェス感覚で巡る！

今や東京のアートの一大拠点となった六本木エリア。界隈に点在するギャラリーをのぞきつつ、2会場を巡る、まさにフェス感覚で楽しめる展覧会。料金も2館で1,800円*(前売は1,600円)と、お得な設定です。また、森美術館は火曜日を除き毎日22時まで開館していることに加え、国立新美術館も金曜・土曜は21時まで開館延長します。時間を気にせずじっくりと作品が鑑賞できます。

※通常単館1,600円程度

プレスリリース

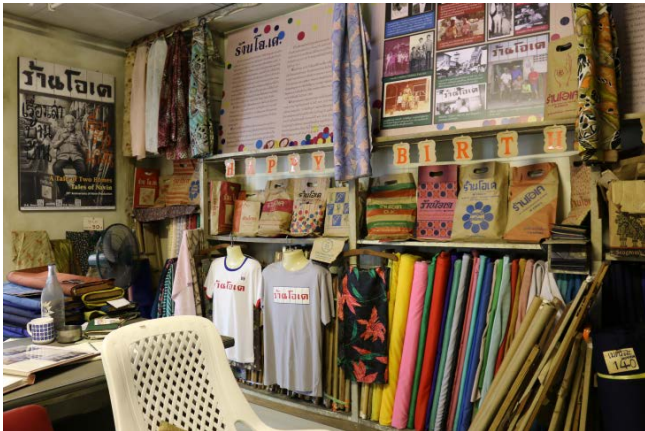
本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

■ 東南アジアをフィーチャーした関連イベントも実施！

本展開催期間中、東南アジア各国の良作、話題作を紹介する映画上映会や、各国の「今」を面白くわかりやすくお伝えする講演・講座など、多彩な関連イベントを実施します。

■ SNS映えする作品も多数！

大型インスタレーションや参加型作品等、写真撮影可能な作品もたくさんあります。



ナヴィン・ラワンチャイクン 《2つの家の物語》 2015年
インスタレーション 387 x 794 x 267 cm
Courtesy: Navin Production, Chiang Mai, Thailand

作家の父親が、チェンマイのワローロット市場で営んでいる生地店「OKストア」を展示室内に再現したインスタレーション作品。内部には家族や親戚、市場の他の商店経営者など、約50人を描いた絵画が展示される。[NACT]



FX ハルソノ 《声なき声》 1993-94年
シルクスクリーン、キャンバス、木の椅子、スタンプ
キャンバス：各143.5 x 95.5 cm 木の椅子：各23 x 38 x 32 cm (9点組)
所蔵：福岡アジア美術館

9枚のパネルの指文字は、左からDEMOKRASI (インドネシア語で「民主主義」)のアルファベットを示す。パネルの手前には、指文字に対応するアルファベットが刻まれたスタンプが置かれ、鑑賞者は自由に紙に押すことができる。[NACT]



フェリックス・バコロール 《荒れそうな空模様》 2009年
インスタレーション サイズ可変

1000個を超える風鈴が、風に揺れ音を奏でるインスタレーション。プラスチック製の色鮮やかな装飾は、東南アジアの祝祭性と大量生産に支えられたグローバル経済を表し、揺れ動くことで変化の兆しを予感させるよう。[MAM]



リュウ・クンユウ 《そびえ立つ街》(「私の国への提案」シリーズより) 2009年
フォトモンタージュ 213 x 575 cm

発展するマレーシアで何が作られ、何が破壊され、何が保存されようとしているのかを見つめることで、国家の在り方を問う圧倒的な密度の大型コラージュ作品。[MAM]

[NACT]…国立新美術館に展示

[MAM]…森美術館に展示

プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

開催概要

会期：2017年7月5日(水)～10月23日(月) **会場**：国立新美術館 企画展示室2E、森美術館

主催：国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター

共催：朝日新聞社、東京新聞、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK

後援：外務省、インドネシア共和国大使館、カンボジア王国大使館、シンガポール共和国大使館、タイ王国大使館、フィリピン共和国大使館、ブルネイ・ダルサラーム国大使館、ベトナム社会主義共和国大使館、マレーシア大使館、ミャンマー連邦共和国大使館、ラオス人民民主共和国大使館

協賛：株式会社大林組、トランスコスモス株式会社、WEARNES、住友商事株式会社

協力：全日本空輸株式会社、シャンパーニュ ポメリー

企画：【国立新美術館】米田尚輝(研究員)、喜田小百合(アソシエイト・フェロー)、武笠由以子(研究補佐員)

【森美術館】片岡真実(チーフ・キュレーター)、荒木夏実(キュレーター)、近藤健一(キュレーター)、

椿 玲子(アソシエイト・キュレーター)、徳山拓一(アソシエイト・キュレーター)、熊倉晴子(アシスタント・キュレーター)

【東南アジア インディペンデント・キュレーター】

マーヴ・エスピーナ(アーティスト、フィリピン)、オン・ジョリーン(マレーシア)、

グレース・サンポー(インドネシア)、ヴェラ・メイ(シンガポール)

一般問い合わせ：◎ハローダイヤル 03-5777-8600 ◎展覧会ホームページ sunshower2017.jp

観覧料 (税込)

	2館共通		単館	
	当日	前売	当日	団体
一般	1,800円	1,600円	1,000円	800円
大学生	800円	600円	500円	300円

※高校生及び18歳未満の方(学生証または年齢のわかるものが必要)は無料。

※障がい者手帳をご持参の方(付添の方1名を含む)は無料。

※学生は身分証等をご提示ください。

※団体券は各館で販売(国立新美術館は20名以上、森美術館は15名以上で団体料金を適用)します。

※前売券(2館共通のみ販売)は、展覧会ホームページからお求めください。(7月4日[火]まで販売)

※サントリー美術館、国立新美術館、森美術館で開催中の展覧会チケット(半券可)を提示された方は、相互割引「あとろ割」(200円引)が適用されます。(国立新美術館、森美術館の各単館券のみ有効)

※その他の割引につきましては、各館へお問い合わせください。

※森美術館併設の展望台 東京シティビュー、屋上 スカイデッキ、森アーツセンターギャラリーへの入館は別料金になります。

巡回：2017年11月3日(金・祝)～12月25日(月) / 福岡アジア美術館

【国立新美術館 企画展示室2E】

住所：〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2

開館時間：10:00～18:00(毎週金曜日・土曜日は21:00まで)

※入場は閉館の30分前まで

休館日：毎週火曜日 **美術館ホームページ**：<http://www.nact.jp/>

アクセス：東京メトロ千代田線 乃木坂駅 青山霊園方面改札6出口(美術館直結)

都営地下鉄大江戸線 六本木駅7出口 徒歩約4分

東京メトロ日比谷線 六本木駅4a出口 徒歩約5分

※国立新美術館には駐車場はございません。

【森美術館】

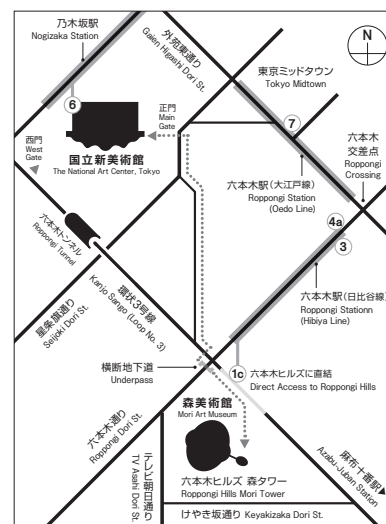
住所：〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階

開館時間：10:00～22:00(毎週火曜日は17:00まで) ※入場は閉館の30分前まで

休館日：会期中無休 **美術館ホームページ**：www.mori.art.museum

アクセス：東京メトロ日比谷線 六本木駅1c出口 徒歩0分(コンコースにて直結)

都営地下鉄大江戸線 六本木駅3出口 徒歩4分



プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内)：三井・谷川
 Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp
 〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

◆ 出展アーティスト

N = 国立新美術館 M = 森美術館

作家名	国名	生年〔-没年〕 〔グループの場合は〕 活動開始年	作品 展示会場	作家名	国名	生年〔-没年〕 〔グループの場合は〕 活動開始年	作品 展示会場
FX ハルソノ	インドネシア	1949年	N	ホー・ツーニエン	シンガポール	1976年	N
ムルヨノとセラム	インドネシア	1957年/ 2006年~	N	ブー・ジュンフェン	シンガポール	1983年	N
アグス・スワゲ	インドネシア	1959年	N M	ホー・ルイ・アン	シンガポール	1990年	N
ヘリ・ドノ	インドネシア	1960年	N	チャルード・ニムサマー	タイ	1929-2015年	N M
メラ・ヤルスマ	インドネシア	1960年	N	モンティエン・ブンマー	タイ	1953-2000年	M
ムラティ・スルヨダルモ	インドネシア	1969年	N	アラヤー・ラートチャムルンスック	タイ	1957年	N
ロラニタ・テオ	インドネシア	1970年	M	ワサン・シッティケート	タイ	1957年	N
ジョンベット・クスウィダナント	インドネシア	1976年	M	ミット・ジャイ・イン	タイ	1960年	M
アングン・ブリアンボド	インドネシア	1977年	N	リクリット・ティラヴァーニャ	タイ	1961年	N
アリアニ・ダルマワン	インドネシア	1977年	N	スラシー・クソンウォン	タイ	1965年	N
アディティア・ノヴァリ	インドネシア	1978年	M	ウドムサク・クリサナミス	タイ	1966年	M
アルベルト・ヨナタン	インドネシア	1983年	M	アピチャッポン・ウィーラセタクン +チャイ・シリ	タイ	1970年/ 1983年	M
ファジャール・アバディ・RDP	インドネシア	1985年	M	ナウイン・ラワンチャイクン	タイ	1971年	N M
イスマル・ムンタハ	インドネシア	1987年	M	スティラット・スババリンヤー	タイ	1973年	M
ルアンルバ	インドネシア	2000年~	M	ブラッチャヤ・ピントーン	タイ	1974年	N
ジャカルタ・ウェスティッド・ アーティスト	インドネシア	2010年~	M	アリン・ルンジャー	タイ	1975年	N
スヴァーイ・ケー	カンボジア	1933-2008年	N	ドゥサディー・ハンタクー	タイ	1978年	M
リー・ダラブー	カンボジア	1971年	N	コラクリット・アルナーノンチャイ	タイ	1986年	M
ソピアップ・ピッチ	カンボジア	1971年	M	チェンマイ・ ソーシャル・インスタレーション	タイ	1992/94/95/ 97年(プロジェクト 実施年)	N
ヴァンディー・ラッタナ	カンボジア	1980年	M	ロベルト・チャベット+ リンゴ・ブノアン	フィリピン	1937-2013年/ 1974年	M
タン・ソック	カンボジア	1984年	M	サンチャゴ・ボセ	フィリピン	1949-2002年	N
リム・ソクチャンリナ	カンボジア	1987年	M	ノルベルト・ロルダン	フィリピン	1953年	N
ティス・カニータ	カンボジア	1987年	M	マヌエル・オカンボ	フィリピン	1965年	N
アマンダ・ヘン	シンガポール	1951年	N	フェリックス・バコロール	フィリピン	1967年	M
リー・ウェン	シンガポール	1957年	N	ライラ・ガルセラノ	フィリピン	1972年	N M
スーザン・ビクター	シンガポール	1959年	N	キリ・ダレナ	フィリピン	1975年	M
コウ・グワンハウ (リム・センゲンとの共同制作)	シンガポール	1963年/ 1981年	N	カワヤン・デ・ギア	フィリピン	1979年	N
ミン・ウォン	シンガポール	1971年	N	マーク・サルヴァトゥス	フィリピン	1980年	M
シャーマン・オン	シンガポール	1971年	N	マルタ・アティエンサ& アトニスラ	フィリピン	1981年/ 2015年~	M
ズルキフリ・モハメド	シンガポール	1975年	M				

プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

作家名	国名	生年〔-没年〕 〔グループの場合は 活動開始年〕	作品 展示会場
ヤスミン・ジャイティン	ブルネイ	1987年	N
チャン・ルーン	ベトナム	1960年	M
ティン・Q・レ	ベトナム	1968年	N
ティファニー・チュン	ベトナム	1969年	N
ウダム・チャン・グエン	ベトナム	1971年	N
ホアン・ズオン・カム	ベトナム	1974年	M
トゥアン・アンドリュウ・グエン	ベトナム	1976年	M
バン・ニャット・リン	ベトナム	1983年	M
イスマイル・ハシム	マレーシア	1940-2013年	N
シムリン・ギル	マレーシア	1959年	N
リュウ・クンユウ	マレーシア	1960年	M
ウォン・ホイチョン	マレーシア	1960年	N
イー・イラン	マレーシア	1971年	N
チュア・チョンヨン	マレーシア	1972年	M

作家名	国名	生年〔-没年〕 〔グループの場合は 活動開始年〕	作品 展示会場
イセ	マレーシア	1972年	M
シュシ・スライマン	マレーシア	1973年	N
オウ・ソウイー	マレーシア	1978年	M
ブーティン	マレーシア	1979年	N
バンクロック・スウラップ	マレーシア	2010年～	N
アウン・ミン	ミャンマー	1946年	N
ティン・リン	ミャンマー	1966年	N
ポー・ポー	ミャンマー	1967年	M
マウン・デイ	ミャンマー	1979年	M
アイ・コー/ニュー・ゼロ	ミャンマー	1963年/ 2008年～	M
ミャンマー・アート・リソース センター・アンド・アーカイブ (MARCA)	ミャンマー	2013年～	N
マーイ・チャンダー・ウォン	ラオス	1943年	N
ホンサー・コッスワン	ラオス	1975年	M

プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局（共同PR内）：三井・谷川
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

「サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」関連イベント情報

■ シンポジウム「現代美術は東南アジア地域をどのように表象してきたか」 ※日英同時通訳付

「サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」は、ASEAN（東南アジア諸国連合）地域における1980年代末以降の現代美術の発展を、世代や地域を象徴するキーワードとともに検証する展覧会です。

各国の政治的、経済的、社会的状況は異なりますが、第二次世界大戦後の脱植民地主義のもと、民主化や近代化を迎え、近年においては経済発展や投資、都市開発が急速に進むなど、大きな変化を遂げていることは共通しています。

本プログラムでは、「現代美術は東南アジア地域をどのように表象してきたか」をテーマに東南アジアの現代美術をとらえてみる世界を再考するとともに、本展にて紹介されるアーティストたちが、社会のさまざまな出来事とどのように対峙しながら作品を制作してきたのか、彼等の様々なバックグラウンドから制作された作品を東南アジアの現代美術の専門家、キュレーター、アーティストたちとともに語り合います。

出演：T・K・サバパシィ（美術評論家）、中尾智路（福岡アジア美術館学芸員）、

ルーベン・キーハン（クイーンズランド・アートギャラリー／プリズベン近代美術館アジア現代美術キュレーター）、

ジューン・ヤップ（「Guggenheim UBS MAP: ノーカントリー—南・東南アジアの現代美術展」[グッゲンハイム美術館、2013年]キュレーター）、

デイヴィッド・テ（キュレーター／シンガポール国立大学研究員、東南アジア現代美術専門）、高森信男（関渡美術館キュレーター）、

レオナルド・バルトロメス（ルアンパバ・キュレーター／ジャカルタアートインスティテューション講師）、

エリン・グレッソン（サバサック・ディレクター）、

シッタータ・ペレス（シンガポール国立大学美術館アシスタント・キュレーター／プランティングライス共同創始者・キュラトリアルチーム）、

ヤップ・ソー・ビン（マルチメディア大学クリエイティブマルチメディア学部専門員）、小川希（Art Center Ongoing代表）、

片岡真実（森美術館チーフ・キュレーター）、米田尚輝（国立新美術館研究員）

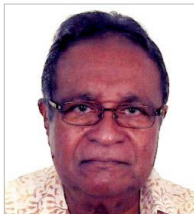
日時：2017年7月8日（土）10:00-17:30

会場：国立新美術館3階講堂

定員：250名（要予約）※予約方法については後日ウェブサイトにて告知します。

料金：無料

主催：国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター



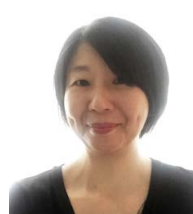
T・K・サバパシィ



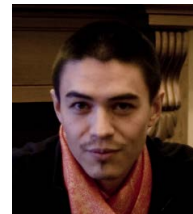
中尾智路



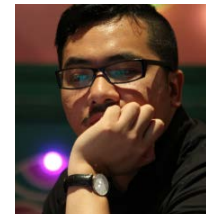
ルーベン・キーハン
photo: Mark Sherwood



ジューン・ヤップ



デイヴィッド・テ
photo: Alex Davies



高森信男



レオナルド・バルトロメス



エリン・グレッソン
photo: Prum Ero



シッタータ・ペレス



ヤップ・ソー・ビン



小川希

プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局（共同PR内）：三井・谷川
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

■ トークセッション「アーティストが見た東南アジア地域の40年」 ※日英同時通訳付

出演：本展出展アーティスト *出演アーティストは後日ウェブサイトにて告知します。

日時：2017年7月5日(水) 19:00-21:00(開場：18:30)

会場：森美術館オーデトリウム

定員：80名(要予約) 料金：無料(要観覧券チケット) *予約方法については後日ウェブサイトにて告知します。

主催：国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター

■ アーティスト・リレー・トーク ※日英同時通訳付

出演：本展出展アーティスト *出演アーティストおよび詳細は後日ウェブサイトにて告知します。

日時：2017年7月9日(日) 13:00-19:00(開場：12:30)

会場：森美術館オーデトリウム

定員：80名(要予約) 料金：無料(要観覧券チケット) *予約方法については後日ウェブサイトにて告知します。

主催：国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター

■ 学校プログラム「先生のための鑑賞プログラム」 ※日本語のみ

対象：幼稚園・保育園、小・中・高等学校・特別支援校、大学、専門学校の教員 *図工や美術以外の教科の先生も参加可能です。

各回：30名 *予約方法については後日ウェブサイトにて告知します。

料金：無料

第1回 日時：2017年7月14日(金) 18:00 - 19:30

会場：国立新美術館3階研修室A・B、企画展示室2E

第2回 日時：2017年7月21日(金) 18:00 - 19:30

会場：森美術館展示室内

主催：国立新美術館、森美術館

■ キッズ、ティーンズ、シニア・プログラム

「いろんな世代の人と一緒にアーティストに出会う」

本プログラムでは、タイ在住の本展出展アーティストのドゥサディー・ハンタクーンを出演に迎え、現代アートを制作するアーティストに直接出会います。アーティスト本人から作品についての話を聞き、制作に至る考えを知り、子どもの頃の家族の思い出のひとつであるタイ料理の「パッタイ」を食します。プログラム最後には、キッズ、ティーンズ、シニアの参加者全員で交流し、自らの言葉で世代を超えて語り合います。

開催時期：2017年8月上旬 *予約方法については後日ウェブサイトにて告知します。

*開催日程や具体的な活動内容については後日ウェブサイトにて告知します。

出演：ドゥサディー・ハンタクーン(アーティスト)

会場：森美術館、六本木ヒルズ内

主催：森美術館



ドゥサディー・ハンタクーン
photo: Naruebas Vadvaree

*出演者は予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

プログラムに関するお問い合わせ：森美術館 ラーニング

Tel: 03-6406-6101(月~金:11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: mam-learning@mori.co.jp

プレスリリース

本件に関するお問い合わせ 「サンシャワー：東南アジアの現代美術展」広報事務局(共同PR内): 三井・谷川
Tel: 03-3575-9823 Fax: 03-3574-0316 E-mail: sunshower2017pr@kyodo-pr.co.jp
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階